北松中央病院だより

HOKUSHO CENTRAL HOSPITAL NEWS

内科／呼吸器科／循環器科／消化器科／腎臓内科／糖尿病･代謝内科／内分泌内科
脳神経内科／整形外科／脳神経外科／放射線科／リハビリテーション科

撮影地:佐世保市 船越展望所　撮影者:岡本和代

病院理念
生命への畏敬

Vol.62　2025.1.25 Winter

新 年 挨 拶

理事長　院長　**東山 康仁**

新春の候、地域の皆様は健やかに新年をお迎えされたことを心よりお慶び申し上げます。

昨年中は、2019年末から始まった新型コロナが一応一般診療として取り扱うようになって年初は、毎年正月に起こっていた大規模な流行は見られませんでしたが、夏になり、大きな流行が起こり、多くの病院でクラスターや職員の休職などが発生し、病棟運営には大きな注意が必要な状態でした。幸いにして当院ではクラスター等には至らず、1年を通して従来の救急医療から回復期医療まで役割を果たせたと思っています。

本年は2025年になりますが、新型コロナが流行以前の8年ほど前から国が推し進めてきた地域医療構想の基準の年になります。確かに5年が経過したコロナ禍の間に人口の高齢化　人口減少が見られ、外来や入院での診療がコロナ以前にはまだ十分回復していない状況が続いています。これは、地域医療構想では予想され、急性期病床の統廃合を考える時が来たのかもしれません。しかしながら、昨年の終盤からは、進行したがん患者さんが急に受診されたり、致死的な心筋梗塞で急に搬送されてきたり、比較的早期であれば、救命または予防できた患者さんも増えているように感じます。これは、この5年間に健診受診率の低下や症状が出ているのに受診を控えていた患者さんがいたのではないかと推察します。病気の診療の基本は早期診断早期治療ですので、生活習慣病を早めに見つけて介入する特定健診やがん検診などをご利用いただければ幸いです。また、佐世保の大きな病院に比べて当院であれば症状によっては迅速に画像診断や消化器内視鏡検査等の検査ができます。気になる症状があるようでしたら、早めの受診を心がけていただければ幸いです。

今年、大リーグでは、大谷翔平が二刀流を復活させます。3月に日本で彼は開幕を迎え、昨年以上に活躍が期待されます。彼の活躍の裏には、他に誰もまねのできない目標を見据えた努力の継続があるようです。私どもも彼の姿勢をできるだけ模倣し、昨年よりは今年、今年よりは来年と患者さんに選ばれる医療機関として進化していく努力を続けてまいります。

2025年1月

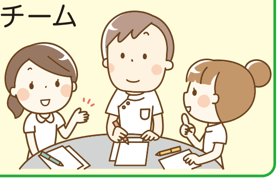
医療安全推進週間 Good Job!!

11月24日から一週間「患者さんの安全を守ること」を中心とした総合的な医療安全対策の推進のため「医療安全推進週間」に取り組みました。当院では“Good Job報告”という取り組みを行っており、様々な“うまくいった事例”に着目し、報告してもらっています。提出された報告書の中から毎月2例を厳選し、「Good Job通信」として全部署に発信することで、全職員で共有しています。今年の報告の中から、上位の3事例を紹介します。

令和6年度 医療安全推進大会

演　題

- サイバーセキュリティについて
  SE 出口 竜也
- かるた大会報告
  医療安全管理室 柿本 大貴 主事 臨床工学技士
- 5S活動報告
  医療安全管理委員会 藤川 浩司 放射線課技師長
- 令和6年度Good Job報告
  リスクマネジメント部会広報チーム
  山口 明 リスクマネジャー



Good Job

透析患者さんが持参している杖がベッドの足下からはみ出しており、足が当たり転倒する危険性があった。それに気づいた看護師がスタッフと一緒に材料を加工して杖置きを作成しベッドに設置した。

→ 杖が固定されることで、転倒の危険が回避された。

参考にしたいレジリエンス!!

手作りで　経費削減と　危機回避

Good Job

治療の副作用軽減を図るために保冷用ミトンを作りました。

→ 患者さんの苦痛軽減を少しでも減らそうと、患者さんに寄り添った行動だと思う。

参考にしたいレジリエンス!!

患者に寄り添い、苦痛軽減

Good Job

車椅子の患者さんが一般の採尿室に入室できない状況を関係各所に相談したところ、連携室スタッフが車椅子トイレに車椅子のマークを作成し表示、検査室スタッフが検尿コップ置き場を作り、一般採尿室のドアに車椅子は入室出来ない旨を表示した。

→ 各所のアイデアを出し合って車椅子使用の患者さんが行動しやすいように改善された。

参考にしたいレジリエンス!!

問題点　患者の目線で　アプローチ

駅伝大会

第48回江迎町駅伝大会が1月19日(日)に開催されました。この駅伝大会に当院の健脚自慢8名が選抜出場しました。半年ほど前より2回/月メンバーで集まり練習に励んだ成果もあり総合順位が4位で、怪我無く走ることができました。また、沿道の応援に後押しされ出場したメンバーはしっかりと力を発揮できたようです。大会を運営していただいたスタッフの方々、寒い中沿道で応援していただいた皆さん、ありがとうございました。

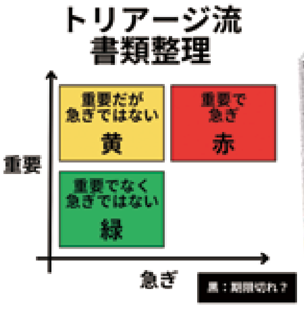
第12回 院内災害対応訓練及び令和6年度多数傷病者発生事案における

災害対応機関連携訓練

10月29日、多数傷病者発生事案における災害対応機関及び市内３災害拠点病院の連携を強化する事を目的に訓練が実施されました。地震に伴う列車横転事故による多数傷病者発生を想定した訓練で、参加機関は、市医療政策課・市消防局・自衛隊、災害拠点病院・救急告示病院・一次医療機関でした。それぞれが市災害対策本部機能・現指揮所および一次トリアージ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）・救急車両により搬送等を担い、当院は災害拠点病院として参加し、傷病者役に看護学生さんのご協力を頂き、18名の二次トリアージ・処置収容を行いました。

混乱の中でも多くの命を救えるように、日頃から災害対応マニュアルと災害用の備蓄·備品を備え、有事には即座に対応できるように職員の意識を高めています。

性別や重症度で受け入れ状況も変わるため確認中です。



４種の色（黒・赤・黄・緑）と数字（０、Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ）で優先順位が示されており、その他に本人の氏名や年齢、傷の状態、応急処置の内容などを記入する欄があります。

救命：応急手当の一番の目的は、生命を救うこと。「救命処置」を目的とした手当を最優先します。

当院では、災害発生時の各自の役割を明確にするために災害対策本部及びトリアージ結果別のエリア担当を事前に振り分け、担当エリアの知識と実践力を身につけることができるよう日頃より取り組んでいます。年1回の訓練前には各エリアでアクションカードが実用的なものであるか、レイアウトや傷病者受け入れ時の流れなど検討を繰り返し、訓練後は振り返りを行い改善が必要な点については速やかに対応しています。

その結果、「前回の訓練より動くことができた」「慌てずに対応できた」「ここは次からこうした方がいい」など、災害対応に対する実践力と意識の高まりが感じられる言葉が聞かれました。

手当の目的は「救命」「悪化防止」「苦痛の軽減」です。
生命にかかわる意識障害、呼吸停止、心臓停止、多量出血などの症状を認めた場合には「救命」を目的とした手当が必要です。また、生命に関わらない傷病者には、「悪化防止」「苦痛の軽減」を目的とした手当が必要です。

今後は今回の反省点を見直し、院内さらには災害対応機関との連携が円滑に行われるよう訓練を継続し、災害に備えていきたいと思います。

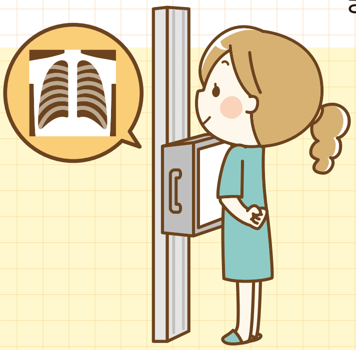
診療放射線技師の仕事

診療放射線技師とは

医師・歯科医師の指示のもと、放射線による検査や、治療等に携わる国家資格を有する医療職です。レントゲン（X線）やCT、MRI、マンモグラフィー（乳房X線検査）、放射線治療など、現代の医療に欠かせない技術を扱います。

放射線は大きな医療上の効果をもっていますが、専門技師としてこの効用を最大限に利用し、被ばくによる危険を最小限にくいとどめるよう管理することも重要な仕事です。

また、放射線を用いないMRI検査や超音波検査も行います。



医療被ばくとは、

放射線を利用した医療の際に受ける放射線被ばくです。レントゲン撮影やCT検査、透視、血管造影などの検査でX線などの放射線を使用することで被ばくします。医療被ばくは、癌などの病気や骨折などのけがを迅速に正確に見つけたり、治療したりするために必要です。診断や治療で用いられる放射線は、それによるリスクよりメリットの方が上回る場合にのみ用いられることを原則としています。

見た目は似て非なるCT検査とMRI検査

CT検査(Computed Tomography)

CT検査とは、X線を利用して身体の断面を撮影する検査です。X線は組織や臓器によって通過しやすさが異なるため、通過したX線量の差をデータとして集め、コンピューターで処理することで身体の内部を画像化して検査を行います。

利点　X線検査よりも画像の精度が高く、骨や肺の内部構造などが明確に描出され小さな癌や臓器のかげに隠れた病変の見落としを防げる可能性がある体内に金属が入っていても撮影できる 広範囲の検査を短時間で行えます。

欠点　放射線の被ばく量がX線検査と比べ多い。

MRI検査(Magnetic Resonance Imaging)

MRI検査は、強力な磁石と電波を使って人体の内部を画像化する検査です。原子からの微弱な信号で画像を得る為、長時間の検査時間になります。放射線による被ばくがなく、体内のあらゆる方向からの断面画像を得ることができるため、脳や脊髄、内臓、筋肉、関節、血管などの詳細な情報が得られます。

利点

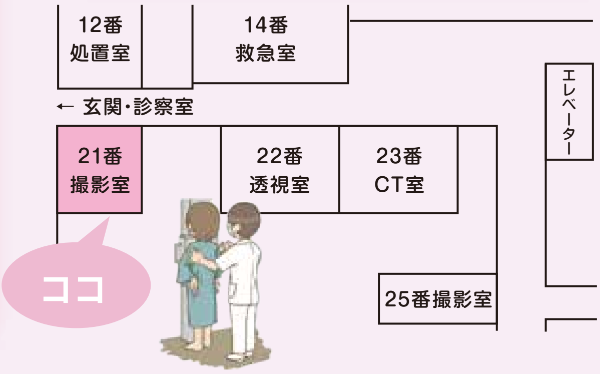
- 放射線被ばくがない
- 造影剤を使用しなくても血管などの画像が得られる
- レントゲン検査では確認が難しい軟部組織を鮮明な画像で診察できる
- レントゲン検査ではわからない骨折の診断に役立つ

欠点

- 検査時間が長い
- ペースメーカーなど体内に機械があると施行できない
- 撮影の際、強力な磁力を断続的に発生させるために振動が起き大きな音が発生する
- 動きに弱く、アーチファクト（ノイズ）が大きい為撮影中動けない

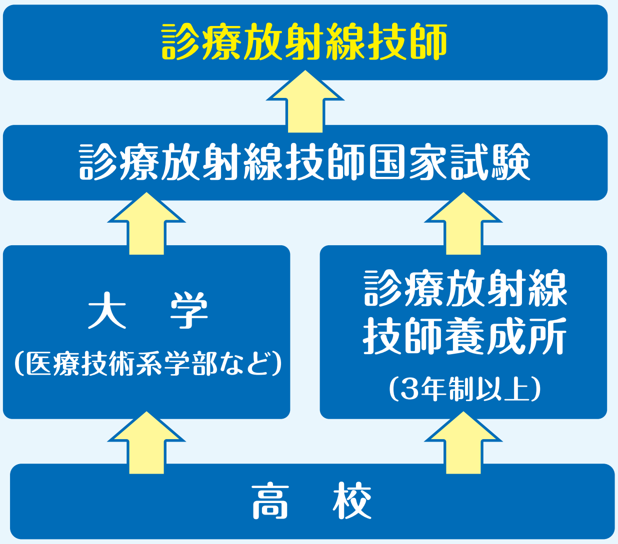
一般撮影

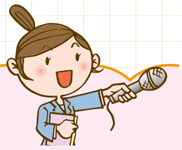
一般撮影とは、X線（レントゲン）を用いて身体の内部を撮影する検査で、単純撮影とも呼ばれます。胸部や腹部、頭部、四肢の骨など、全身のさまざまな部位を撮影することができます。当院の21番の撮影室の一般撮影装置が更新されそれにともない撮影室扉も横開きになりました。



診療放射線技師になるには

診療放射線技師になるためには、診療放射線技師国家試験に合格しなければなりません。受験資格は、養成課程のある大学や専門学校などで3年以上必要な知識、技能を修得した者などに与えられます。養成課程のある大学には2022年現在、15の国公立と25の私立があります。国家試験の合格率は、年によってばらつきがあるものの、近年は70～80%台で推移しています。国家試験の科目には、基礎医学大要、放射化学、画像工学などがあります。画像診断は病気の診断、治療に大きな役割を担っており患者様の一助となるよう努めています。





質問コーナー

Q. 放射線技師になったきっかけ

学生の時、部活で肉離れをしてMRI検査をした際に、こういった職業もあるんだと興味が湧き、調べたのがきっかけです。

Q. 仕事の面白み

関節が上手に抜けたり、診断に有用な画像を撮影できたらやりがいを感じます。

Q. おすすめの検査

CTやMRIです。CTは数秒で体内の構造や異常がわかります。MRIは被ばくすることなく体内の軟部組織の構造や異常がわかります。

次号は… 薬剤師の仕事

◎週間ドクター診療日（※太字は新患担当）

（令和7年1月現在）

診療科目	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
呼 吸 器 科	徳永　直紀	東山　康仁	**徳永　直紀**	東山　康仁	**東山　康仁**
循 環 器 科	**田中　規昭**	福井　　純 松尾　俊哉	田中　規昭	福井　　純	※山佐稔彦（長崎労災病院） **松尾　俊哉**
消 化 器 科	宮下　香世	**高森　謙一**	**宮下　香世**	—	高森　謙一
腎 臓 内 科	**玉置　　明**	**久原　拓哉**	久原　拓哉	**中沢　有香** **玉置　　明**	中沢　有香
整 形 外 科	—	※北原博之（佐世保中央病院）	※小西宏昭（佐世保中央病院）	—	—

※非常勤医師

受付時間

8：30～11：00

診療時間

9：00～12：00
13：00～17：15
（但し、午後は急患のみ）

休 診 日

土曜日、日曜日、祝祭日、
年末年始（12/29～1/3）

専門診療施設・機器等

ＩＣＵ（7床）、感染症病床（2床）、地域包括ケア病床（15床）、血液浄化センター（50床）
リハビリセンター、健診・人間ドック、内視鏡センター、ＣＴ（320列ＭＤＣＴ）、ＭＲＩ（1.5Ｔ）
心血管造影室、心臓ＭＤＣＴ、超音波検査（心臓、血管、腹部、甲状腺）、
動脈硬化検査〔脈波（ＰＷＶ，ＣＡＶＩ）、中心動脈圧（ＡＩ）、上腕動脈血管拡張反応（ＦＭＤ）〕
心臓リハビリセンター、心肺運動負荷試験（ＣＰＸ）

併　設

訪問看護ステーション たんぽぽ
指定居宅介護支援事業所
院内保育施設「なでしこ保育所」完備
救急ヘリポート完備

※急患は、診療時間にかかわらず、24時間対応いたします。

Wi-Fi接続サービスのご案内

Wi-Fi接続サービスご案内　Wi-Fi

外来待合室での無料Wi-Fiサービスを開始しています。待ち時間を有効に使っていただければ幸いです。

◎検査外来

午前

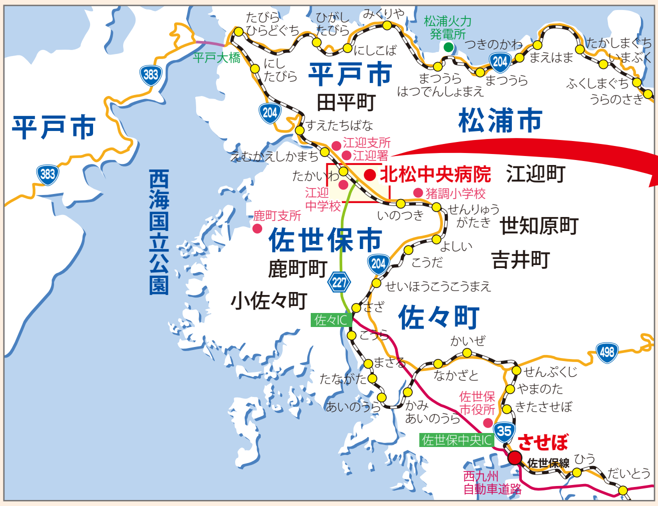
人間ドック	月～金
胃X線検査	〃
胃・内視鏡検査	〃
腹部エコー	〃
眼底検査	〃
トレッドミルテスト	〃
心肺運動負荷試験	月・水・金

午後

大腸ファイバー	月・水・木・金
心臓カテーテル検査	火・水・木
気管支ファイバー	火
ERCP	適宜
腎生検	〃

午前・午後

心エコー	月～金
血管エコー	〃
CT	〃
MRI	〃
脈波	〃
肺機能	〃



アクセス
西肥バス……………………北松中央病院前下車
MR松浦鉄道…………………高岩駅下車約300m
車 ……………………国道204号線 江迎町赤坂
西九州自動車道路 佐々インターより
県道227号線を約８km

北松中央病院だより Vol.62 令和7年1月25日発行　地方独立行政法人 北松中央病院　発行責任者／東山 康仁
広報委員会：委員長 原口勝典・中村貴泰・前田沙織・内海千美・白石有香里・岡本和代・森哲洋・池田江利子・榊原淳

地方独立行政法人 北松中央病院
〔併設〕訪問看護ステーションたんぽぽ・居宅介護支援事業所
〒859−6131 長崎県佐世保市江迎町赤坂299番地
☎(0956) 65-3101　FAX (0956) 65-2124　http://www.hokusho.dr-clinic.jp/